

文京区補助金等チェックシート（実績検証用）

所属 保健衛生部予防対策課精神保健係
 問合せ先 03 - 5803 - 1847

1 補助金の名称等

3年度調査

補助金の名称	精神障害者地域生活安定化支援事業補助金								
根拠規定等	文京区精神障害者地域生活安定化支援事業補助金交付要綱								
創設年月	平成	23	年	4	月	経過年数 〔自動計算〕	10年	終了予定年月	
見直し年月	令和	3	年	4	月	経過年数 〔自動計算〕	0年		
見直しの内容	補助基準額の変更(Ⅰ型千円7,433千円→7,533千円、Ⅱ型7,253千円→7,330千円、Ⅲ型7,299千円→7,395千円)								
予算科目	款	項	目	大事業	中事業	計画事業番号			
	6衛生費	1保健衛生費	4障害者自立支援事業費	3地域生活支援事業	1地域生活支援事業	88			
補助金の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 奨励的補助 <input type="checkbox"/> 施設運営補助 <input type="checkbox"/> 扶助的補助 <input type="checkbox"/> 投資的補助 <input type="checkbox"/> 利子補給								

2 補助金の概要

補助目的	精神障害者の治療中断等による病状悪化を未然に防ぎ、地域での安定した生活を送ることを目的とする。								
補助事業等の内容	(1)治療継続支援事業(受診同行や医療機関との連携等) (2)見守り支援事業(服薬継続のための訪問や電話による支援等)								
補助対象経費の内容	当該事業に係る経費全般								
補助事業者等	<input type="checkbox"/> 区民 <input type="checkbox"/> 地域活動団体 <input checked="" type="checkbox"/> NPO(特定非営利活動団体) <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> その他								
	〔特定の相手方に補助している場合は具体的に記入〕 社会福祉法人復生あせび会、非特定営利法人エナジー本舗、公益財団法人東京カリタスの家								
補助金の算出	<input type="checkbox"/> 定率 (補助率) <input checked="" type="checkbox"/> 定額 (補助額 ^{Ⅰ型7,533千円、Ⅱ型7,330千円、Ⅲ型7,395千円})								
	<input type="checkbox"/> 補助単価 (補助単価 単位) <input type="checkbox"/> その他								
	〔その他の場合は具体的に記入〕 〔定額又は補助単価の場合は金額設定の考え方を具体的に記入〕 東京都の障害者施策推進区市町村包括補助事業補助要綱に準じた基準額に、人件費の定期昇給分を加えた額。								
公募の状況	非公募								
実績報告書時における用途の確認方法	<input type="checkbox"/> 領収書 <input type="checkbox"/> 契約書 <input checked="" type="checkbox"/> 決算書 <input type="checkbox"/> 成果物 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (事業報告書)								
補助・単独の状況	<input type="checkbox"/> 区単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助(区上乗せ無し) <input type="checkbox"/> 補助(区上乗せ有り)		負担割合	区	1/2	国	都	1/2	補助対象者
			上乗せの内容・理由						

3 交付実績

(件、千円)

項目	30年度(決算)	元年度(決算)	2年度(決算)	3年度(予算)
交付(見込み)件数	3	3	3	3
決算(予算)額	21,415	21,696	21,985	22,258
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	10,708	10,848	10,993	11,129
その他	0	0	0	0
一般財源	10,707	10,848	10,992	11,129
交付実績の特記事項				

4 補助金の交付の適否に関する基準 [○:適合、△:適合しているが課題あり、×:不適合、-:非該当]

項目	内 容	判定	判定の理由(△、×の場合のみ記載)
必要性 (公益性)	補助事業等が、社会情勢や区民ニーズに適合しているか	○	
	基本構想、総合戦略、個別計画等の区の政策に適合しているか	○	
	区と区民等の役割分担の中で、区が補助すべき事業であるか	○	
	実施しなかった場合に大きなマイナスの影響が生じるか	○	
公平性	補助要件に該当する補助事業者等であれば、誰でも補助金の申請をする機会が確保されているか	○	
	交付先は適正な手続きによって決定されているか	○	
効率性 (有効性)	補助金の交付以外の代替策はないか	○	
	補助金の交付による効果が認められるか	○	
	補助金額に見合う具体的効果が認められるか	○	
	事業実施の効果が広く区民に還元されているか	○	
適正性 (適格性) (妥当性) ※個人等の補助金については不要	法令等に抵触していないか	○	
	団体等の活動内容が補助目的と合致しているか	○	
	団体等の会計処理や補助金の使途が適正か	○	

5 効果、課題及び今後の方向性

効果	令和2年度は、自宅訪問や受信同行等2,018件の支援の結果、状態が安定し支援終了となる利用者が毎年一定程度出ている。また定期的に検討会議を行っており、様々な視点で継続的な支援を行っている。
課題	受診同行等の支援の需要はあるが、支援事業所が区内に少ない。
今後の方向性	今後も、対象者及び支援を必要としている者が安心して地域で生活できるよう、受診同行等の支援を行っていく。また、支援終了者が増えるよう、本人への障害福祉サービスへの利用を促すとともに、地域の事業所と連携し対応していく。